



このプロジェクトが目指すものは、  
**『～生涯にわたって学び続ける～生きる力がみなぎる燕の子ども』**  
 そのためには、「教えてもらう」だけでなく、「主体的な学び」の中で「自ら学びとる」授業づくりを行う必要があります。プロジェクトでは、次の取り組みを行っています。



教えてもらう授業から

**自ら学びとる授業へ**

プロジェクト通信を市ホームページで配信中! [こちらからご覧いただけます](#)▶



## プロジェクトの内容

### 分析・検証

#### ●リーディングスキルテスト

- 小学6年生、中学1～3年生がリーディングスキルテストを受検します。

#### ●中学校区研究会

- 各校は教員の研修テーマに読解力育成の視点を取り入れています。
- 中学校区をグループとして研究会を実施し、授業研究に取り組んでいます。

### 教員の研修 ・授業設計

#### ●全体研修会

- 新井紀子さんを指導者に招き、教員向けの研修会を開催しています。

#### ●視察研修

- 先行して読解力育成に取り組む自治体、学校を訪問し視察研修を行っています。



### 授業実践

#### ●つばめ読解力育成プランの作成・実践

- 指導案、授業記録などを蓄積し、プランの作成と授業改善の実践を行っています。

### 試行錯誤の先に未来がある。

### interview

昨年度から「つばめ読解力育成プロジェクト」をスタートさせました。まず、現場の先生が読解力育成の重要性を理解することをねらいに、新井紀子さんの講演会や小学6年生、中学1～3年生を対象としたリーディングスキルテストを実施しました。

しかし、実際にどのような授業づくりをしていくのかという点は、現在行っている研究会などを通じて、さまざまな意見を出し合いながら、各学級で試行錯誤している段階です。

今までの授業を大きく変えるのではなく、読解力育成の視点で授業を見直し、教材研究や指導場面を工夫していきます。各教科の目標を達成するために、リーディングスキルを活用した授業づくりを積み重ねることで、結果として子どもたちの読解力が育まれていくと考えています。

私たち教員の試行錯誤の先に、燕市の子どもたちに主体的・対話的で深い学びが生まれ、それぞれが明るい未来をつくることのできるのではないかと考えています。

燕市教育委員会  
主任指導主事 **小池 純一**

## 読解力は I.T.O?

これからの社会を生き抜くための基礎となるのは、**INPUT**【認識】、**THINK**【思考】、**OUTPUT**【表現】です。

インプット  
**INPUT**【認識】

教科書などの文章や図表から読み取ったことを

シンク  
**THINK**【思考】

もと基にして、**分かったこと、考えたこと**を

アウトプット  
**OUTPUT**【表現】

**相手に伝える力**



### 読解力を支えるリーディングスキル



### リーディングスキル

かか 係り受け解析・かいせき 照応解決・しょうおう 同義文判定

推論・イメージ同定・具体例同定

### 用語解説

- 係り受け解析 / 主語と述語のつながりが分かる。
- 照応解決 / 「これ・それ・あれ・どれ」など、指し示すものが分かる。
- 同義文判定 / 2つの文章が同じ意味が分かる。
- 推論 / 学習したことを使って「～なので～である」と判断ができる。
- イメージ同定 / 文章と図や表などを正しく対応づける。
- 具体例同定 / 言葉や算数（数学）・理科用語の定義が分かる。

リーディングスキルとは、文章や図表などから正確に読み取るための基礎的な読む力で、**読解力を支える能力**です。必要な情報を文章から読み取るためには、リーディングスキルを身につけておく必要があります。

### 読解力とリーディングスキル